

「日本人の心」学びたい

米國ホルダ下出身のアビ・スタンパークさん（28歳）が、山形市の料亭・千歳館で板前修業をしている。言葉や文化の壁と格闘しながら、「おび、おびの心を学ぼう」と、華道にもいそむ。二十二日から、同市ナナ・ビーンズで開かれる華展に作品を展示する予定だ。

高校生のころ料理の道根やネギを切る仕事を任
を志し、大学生の時にウ
エーターの仕事を通して
日本料理に魅了されたア
ビさん。二〇〇一年に、
米國留学中の沢渡章さん
（27歳）同館取締役と友
人を通して知り合い、今
年一月「日本の料亭で技
を磨きたい」と、来日し
ルを送る。

板前修業の一番下で、
タオル洗いやお茶出し、
八百屋への買い出し、大
つ二つの積み重ねに忍耐

米國出身のアビさん 山形

料亭で板前修業



真剣なまなざしで板前修業に励むアビ・スタンパークさん

華道にも挑戦、作品展示へ

を強いられ、理解できな
い方言と専門用語が飛び
交うのが一番つらい」と
話す。しかし、「密に出
す料理の大部分を担う煮

方の仕事に就けるまで、
しばらく日本で頑張りた
い」と意気込む。
また、同館の女将・好
子さんが華道の師範を務
めていることもあり、料
色の取り合わせなど、日
本料理の盛り付けに通じ
るものがある。生け花を
通し、季節感を楽しむ日
本人の心も学んでいた。

理以外にも日本文化に触
れようと、仕事の合間を
見ながら、週一回生け花
の指導を受けている。
二十二日から、ナナ・
い」と話していた。